

本部MA2024-033

2024年12月23日

前回の年末年始、出動は約12秒に1件。事前のチェックでトラブル回避！ 年末年始、クルマでのお出かけには万全の備えを！

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は12月23日（月）、前回の年末年始期間の救援件数を公開し、帰省などクルマの使用が増える年末年始にトラブルを防ぐため、お出かけ前の車両点検を呼びかけています。

■年末年始の救援出動は約12秒に1件！最も多いのはバッテリー上がり！！

前回の年末年始期間（2023年12月29日～2024年1月9日）、JAFが出動した件数は8万6361件にのびました。これは約12秒に1件の割合です（2023年度の年間平均は約13.9秒に1件）。

最も多い要請内容は「バッテリー上がり」。気温が低いとバッテリーの能力が低下し、発生しやすくなります。また、バッテリーは使用環境によって劣化の進み方が大きく変化しますので、お出かけ前にはカーディーラー、ガソリンスタンド、カーショップなどでチェックすると安心です。

▼ロードサービス出動理由：<https://jaf.or.jp/common/about-road-service/frequency>

■雪道でノーマルタイヤは止まらない！降雪時のノーマルタイヤはスリップ事故や渋滞の原因に

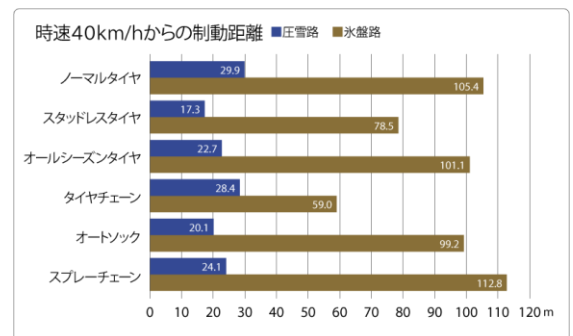
JAFは、6種類のタイヤを用い雪道（圧雪路）と凍結路（氷盤路）での制動距離実験をおこないました。

その結果、雪道でのノーマルタイヤの制動距離は29.9mでスタッドレスタイヤの17.3mに対して約1.7倍でした。

多くの人の移動が予想される年末年始。降雪が予想される地域へお出かけの際はタイヤチェーンやスタッドレスタイヤの準備をしておきましょう。

▼走れても止まらない、雪道のノーマルタイヤ

<https://www.youtube.com/watch?v=gHwPjHD3vKg>



オートソック…布製タイヤ滑り止め
スプレーチェーン…タイヤ滑り止めスプレー

■タイヤが破裂する「バースト」の主な原因はタイヤの空気圧不足

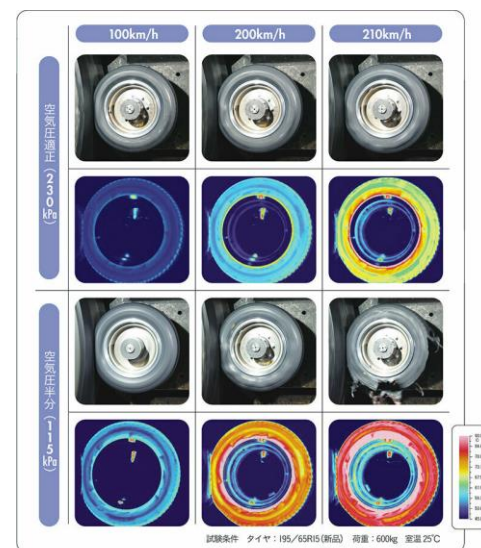
JAFのロードサービス救援件数で上位を占める「タイヤのパンク」。この中にはタイヤの空気圧不足が主な原因である「バースト」が含まれます。

JAFは適正空気圧と空気圧半分の2パターンで、速度を上げながらタイヤの状態を観察し、温度も計測しました。結果は、時速200kmから空気圧半分のタイヤの表面が波打つ現象が発生し温度は100℃を越え、時速210kmになると、さらに波打ちが激しくなりバーストしました。

タイヤは日常点検が大切です。給油時に空気圧などの確認をしましょう。また、空気圧不足以外でも、縁石にタイヤを強くぶつけたり、擦ったりすると、バーストしやすくなるので注意しましょう。

▼空気圧不足でも起きるタイヤのバースト

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/driving-environment/burst>



2パターンのタイヤで速度を上げながら
検証したタイヤの状態と温度の変化

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館